

R5 学校運営反省用紙1 【教務①】

4:あてはまる 3:少しあてはまる 2:どちらかというとあてはまらない 1:あてはまらない

★一人ひとりが輝く授業の創造

★確かな学力の確保

具体的な方策	観 点		4	3	2	1	平均 R4	平均 R5
教育目標	1	学校の教育目標や努力点の目標を意識して、授業や行事など児童の指導に取り組んでいる。	8	7	0	0	3.3	3.5
学校努力点の推進	2	努力点の目標をもとに、児童に身に付けさせたい力を考え、年間を通して取り組んでいる。	6	9	0	0	3.3	3.4
	3	授業研究（教材研究・指導案の作成・事前事後の検討）や実践の成果・課題を、日常の授業に生かしている。	7	7	0	0	3.3	3.5
教師力の向上	4	各教科・領域の指導において、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を意識した学習指導をしている。	5	8	2	0	3.1	3.2
	5	各教科・領域の指導において、めあてと振り返りを大切にした主体的な学びを意識して指導している。	6	8	0	0	3.1	3.4
	6	各教科・領域の指導において、課題解決的な学習を通して、どのような力を付けるかという授業に対するビジョンをもった指導をしている。	3	10	2	0	3.2	3.1
	7	楽しく分かる授業、一人一人が活躍できる授業づくりに心掛けている。	7	6	0	1	3.4	3.4
	8	すべての児童が落ち着いて学び、安心して生活できる場をつくるようにしている（居場所づくり）。	7	8	0	0	3.4	3.5
	9	すべての児童が活躍できる機会をつくるようにしている（絆づくり）。	7	7	0	0	3.2	3.5
	10	タブレットを取り入れた授業づくりに心掛けている。	6	7	1	0	3.5	3.4
家庭学習の定着	11	個々の学力に合わせて取り組めるような課題を用意し、家庭でも自分に合った学び方で取り組むことができるようにしている。	3	9	1	0	3.0	3.2
教職員研修の充実	12	現職教育の内容を、児童への指導や事務処理に生かしている。	8	5	1	0	3.5	3.5
（年間計画）	13	年間行事の内容や位置付けについて、職員や児童が無理なく活動できるように計画されていると思う。	5	7	2	0	3.5	3.2
（週間課程）	14	週間課程（登下校時刻・業前開始時刻・休み時間・予鈴など）について、職員や児童にとって無理なく活動できるように設定されていると思う。	7	7	0	0	3.3	3.5
（通知表）	15	通知表を配付したり個人懇談で資料を渡したりすることで、保護者に学習状況が伝わるようにしている。	11	4	0	0	3.5	3.7
（特別活動）	16	児童会活動（代表委員会・児童集会・委員会）、クラブ活動、学級活動、各種行事などでは、児童の意見や提案を取り入れ、児童と共に創り出す場をつくるようにしている。	7	7	0	0	3.4	3.5

R 5 学校運営反省用紙 2 【教務②】

4:あてはまる 3:少しあてはまる 2:どちらかというあてはまらない 1:あてはまらない

★心の教育の推進

具体的な方策	観 点	4	3	2	1	平均 R4	平均 R5
基本的な生活習慣の定着	17 児童の言動を観察したり、一人一人の児童に寄り添ったり、相談しやすい雰囲気をつくったりして、一人一人の児童としっかり向き合っている。	8	8	0	0	3.6	3.5
	18 児童や保護者とのことで、報告・連絡・相談をこまめに行い、全職員で全児童を見守る(チームの一員として行動する)ようにしている。	13	2	0	0	3.5	3.9
	19 全職員が「成章のよい子」を共通理解し、保護者に理解を促しながら指導を行うことで、児童の生活習慣の定着を図るようにしている。	5	10	0	0	3.5	3.3
道徳教育の推進	20 道徳科の授業を通して、児童の道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てるようにしている。	5	7	2	0	3.1	3.2
いじめの防止	21 道徳の授業だけでなく、ING活動などを通して、いじめが起きにくい学級づくり、いじめに向かわない児童を育てるようにしている。	7	7	0	0	3.5	3.5
	22 子ども同士の小さなトラブルも丁寧に話を聞き、解決に努めることで、児童が気持ちよく学校生活を送ることができるようにしている。	12	3	0	0	3.6	3.8
教師と子どもとのふれあい	23 授業や教育相談だけでなく、休み時間に児童と話をしたり遊んだりするなど、児童とふれあう機会を設けるようにしている。	10	5	0	0	3.2	3.7
(教育相談)	24 教育相談を中心に、児童との対話を通して、自分の心と向き合う機会を設け、心の成長を図るようにしている。	8	7	0	0	3.5	3.5

★家庭・地域との協働

具体的な方策	観 点	4	3	2	1	平均 R4	平均 R5
情報発信の充実	25 家庭や地域への情報発信について、各種たより(学校だより・学年だより・保健だより・給食だよりなど)・HP・メールなどで、分かりやすく伝えるようにしている。	10	5	0	0	3.4	3.7
地域との交流の推進	26 地域の人材や地域との交流(思春期セミナー・学区探検・秋まつり・伝承遊び)を、児童の学習に活用している。	7	4	1	1	2.9	3.3
家庭・地域との対話	27 家庭訪問・個人懇談会・授業参観・学級懇談会・幼保小連絡会・学校保健安全委員会などで情報交換をすることを通して、家庭・地域と一緒に児童の成長を支えるようにしている。	11	4	0	0	3.4	3.7

R 5 学校運営反省用紙 3 【教務③】

4:あてはまる 3:少しあてはまる 2:どちらかというあてはまらない 1:あてはまらない

★体力向上と安全教育の推進

具体的な方策	観 点		4	3	2	1	平均 R4	平均 R5
防災教育の 推進	28	避難訓練や防犯訓練などで、児童が命を守る行動をとることができるように指導している。	12	3	0	0	3.8	3.8
学習環境の 整備	29	学習に関する教材・教具（教材室や体育倉庫など）を使いやすく整備し、児童の学習活動に活用するようにしている。	12	2	0	0	3.6	3.9
	30	校舎内外の美化に努め、学年花壇やその他の施設・設備を整備し、児童が心を癒やす場を提供するようにしている。	8	7	0	0	3.6	3.5
食育の 推進	31	給食の配膳・片付け・ごみの分別・食事マナー・栄養指導を行うことで、児童がマナーに気を付け、友達と楽しく会食することができるようにしている。	7	8	0	0	3.5	3.5
（防災施設 の整備）	32	緊急時に備え、防火用水・消火器・防災扉・避難階段・防災倉庫などの設備の整備に心掛け、児童の安全を守ることができるようにしている。	6	8	1	0	3.3	3.3
（保健 指導）	33	児童が病気やけがのときには、保健室や職員室と連携して対応している。	13	2	0	0	3.8	3.9
（アレルギー）	34	アレルギー対応が必要な児童を把握し、児童が安心して給食を食べることができるようにしている。	14	1	0	0	3.6	3.9
（防犯）	35	防犯教室や分団会議、日頃の防犯指導の中で、「つみきおに」をもとに、児童が命を守る行動をとることができるように指導している。	13	2	0	0	3.8	3.9
（通学 分団）	36	児童に「止まる・見る・待つ」大切さを考えさせ、児童が自分たちで安全に登下校することができるように指導している。	6	9	0	0	3.6	3.4
（清掃 活動）	37	清掃場所を分担して、児童が自分たちで学校をきれいにすることができるように指導している。	10	6	0	0	3.5	3.6

R 5 学校運営反省用紙 4 【校務】

4:あてはまる 3:少しあてはまる 2:どちらかというにあてはまらない 1:あてはまらない

校務

具体的な方策	観 点	4	3	2	1	平均 R4	平均 R5
庶務	38 校務分掌に関わる文書や簿冊の作成を期日までに行ったり、決められた場所に保管したりするようにしている。	12	4	0	0	3.6	3.8
	39 児童名簿・ノート類・成績物・写真などの個人情報の取り扱いに十分気を付けている。	13	2	0	0	3.7	3.9
財務	40 保護者からの徴収金の管理、業者への支払いを適切に行い、会計簿に記録するようにしている。	10	3	0	0	3.5	3.8
管財	41 備品の配置場所や使用可否を確認しながら、備品点検を行うようにしている。	12	4	0	0	3.5	3.8
	42 児童の体に合わない、何らかの不具合で使いづらい場合には、机や腰掛けを修理や交換するようにしている。	12	3	0	0	3.4	3.8
	43 児童にとって必要な図書を選定したり、児童が読書に親しめるような環境を整備したりするようにしている。	11	4	0	0	3.7	3.7
	44 教師用教科書・解説書、職員図書を、児童の指導に役立つように使用している。	10	5	0	0	3.6	3.7
	45 月1回の安全点検だけでなく、日頃から安全面に気を配るようにしている。	12	4	0	0	3.5	3.8
給食	46 毎月の食数の確認や返金の処理などに気を付けて、給食徴収簿を作成するようにしている。	9	4	0	0	3.6	3.7
保健	47 児童に通院を伴うけがが発生した場合に、養護教諭と管理職に報告するようにしている。	13	2	0	0	3.9	3.9
事務	48 教科領域等検討会で話し合ったことを参考にして、購入物品の計画・執行を行うようにしている。	11	3	1	0	3.5	3.7
	49 備品や消耗品を、児童の指導や事務処理などに役立つように使用するようにしている。	12	4	0	0	3.7	3.8
業務	50 教室や職員室から出るごみの減量に協力するようにしている。	8	8	0	0	3.3	3.5
学校として	51 小規模校で校務分掌の負担は一人一人大きい、複数対応の体制がとれていたり、相談しやすい環境が整っていたりする。	9	6	0	0		3.6
	52 各種研修(夏季休業中も含む)や様々な出張に参加しやすい職場の雰囲気がある。	9	6	0	0		3.6
	53 欠席連絡・ペーパーレス化、会議の進め方等、働き方改革につながるスリム化が図られている。	8	7	0	0		3.5